



# 一期一会

発行  
株式会社イフ・ジャパン  
編集 営業企画部

〒381-0031  
長野市西尾張部1064-4  
電話 026-243-6808  
Fax 026-243-9122

～はじめに～ こんにちは、編集担当の野田です。まとまった雪が降った今年の冬もようやく終わり、春の訪れを感じてきたこの頃です。スキーもそろそろ出来なくなってきました。思い残すことなく目いっぱい滑っておこうと思います。



## 糸魚川の大火 早期支払い実現

新潟県糸魚川市において、2016年12月22日10時20分頃に出火した火災は、年末に差し掛かろうとする日本に報道された衝撃の火災でした。この火災における弊社取扱い保険

会社であります「損保ジャパン日本興亜社（以下、S J社）」の取り組みについて、皆さまにご報告させていただきます。

焼損棟数 144棟  
（全焼 120棟 半焼 4棟 部分焼 20棟）、  
焼失面積は約40,000㎡、うち建物の焼損面積が33,000㎡（約1万坪）を超えたため、消防庁が定義する『大火』となりました。

この大規模火災に関して、『火災発生の翌日から三連休』『現場に入れない』環境下で、火災発生翌日の三連休初日の12月23日から被災地入りし、S J社の社員・代理店が連携してお客さま対応や関係各所への情報収集にあたったのです。さらに、ドローンを活用して損害を確認することで、災害発生から営業日3日目の12月28日（年内着金）までに完了率60%、営業日5日目の12月30日までに完了率80%を達成し、同日に損保ジャパン日本興亜上越災害対策室では、ローラー実調が全契約者さま終了することが出来ました。

### 損保業界初 ドローン活用

糸魚川火災の損害調査にあたり、損保業界で初めてS J社がドローンを活用しました。損害保険業界初の試みであったことから、NHKや新聞やマスコミ報道で大きく取り上げられました。地上からの損害調査だけでは限界があり、早期の支払いも出来ません。S J社の事故受付件数が最も多い中、対応の速さへ私たちが代理店の仲間より、

「損保ジャパン日本興亜は火災翌日から直ぐに対応を開始していたため、支払いまでの日数が他社と比べて圧倒的に早く、お客さまから感謝の言葉を多数頂いている。年内に着金されたのはS J社だけであった」

との声がありました。災害なので1日でも早なお支払いをお客様は望まれます。それにこ

たえるのが、私たち代理店、保険会社の使命だと思っています。

### 編集後記

今冬はまとまった雪が降った年でした。雪も解け大切な我が家を見上げたら、「雪の重みで瓦がずれてしまった」「雨どいが曲がってしまった」そんなことばがございませんでしょうか？ご安心ください。ご加入の火災保険で対応できる場合もあります。

イフ・ジャパンでは火災保険のご契約者様に雪による損害がなかったか確認をさせていただきます。もし、損害があるようでしたらお申し出をお願いいたします。「住宅金融公庫特約火災保険」にご加入のお客さまも同じように受け付けますので、まずはご相談ください